

# こどものための

## きょうどしりょう 郷土資料

発行 2003年11月5日  
 富士市立中央図書館  
 〒417-8515 静岡県富士市永田北町3-7  
 TEL 0545-51-4946 FAX 0545-51-7135

### No.10 神戸・今宮・一色の地名

神戸、今宮、一色は、古くから今宮浅間神社の社領(神社が支配する土地)でした。天文16(1547)年、今川義元の命令で東泉院が五社別当になったことから、寺領村となりました。

神戸という地名は、承平年間(931~938)にまとめられた「和名類聚抄」にその名がみられるように、古くから使われていました。ゴウドは、カンベと同じく「神社に所属した戸(家・人々)」という意味です。

#### ことばの解説

**今川氏親**：戦国時代の武将。1473~1526。遠江を治めた。大永6(1526)年、病死。

**今川義元**：戦国時代の武将。1519~1560。父は今川氏親。駿河・遠江・三河を治めた。1560年の桶狭間の戦いで、織田信長に敗れ、戦没。

**東泉院**：承和年間(834~848)にはじめられた、真言宗の寺。現在の和町町にあったが、明治元年に廃寺となった。

**五社別当**：五社は、富知六所浅間神社、今宮浅間神社、滝川浅間神社、白吉浅間神社、入山瀬浅間神社をいう。

今宮という地名は、長享3(1489)年1月吉日の今川氏親判物(「静岡県史料3」見性寺文書)に登場します。イマミヤは、本宮に対して、その分社を指します。新たにまつた神社のことです。

一色という地名は、天文18(1549)年12月13日の今川義元判物写(「静岡県史料2」浅川井出文書)に初めて登場します。イッシキは、「ひといろの税をとる」という意味で、一種の税をとる土地を表します。

別当は、別当寺のことで、神社のまつりごとや管理などの支配権をもった寺をいう。

**判物**：室町以降、主君や主筋から与えられる、主に領知(領有して支配すること)に関する証明書。

**富士三石**：滝川のかがみ石、泰徳寺(伝法)の氷石、飯森山(今宮)の壘石をいう。

**曼陀羅**：仏や神々を特定の形式で配置して、悟りの世界や仏の教えを示した図絵。

**和名類聚抄**：和名抄ともいう。醍醐天皇の皇女勳子内親王のために、源順がまとめた、一種の百科事典。10巻本と20巻本がある。

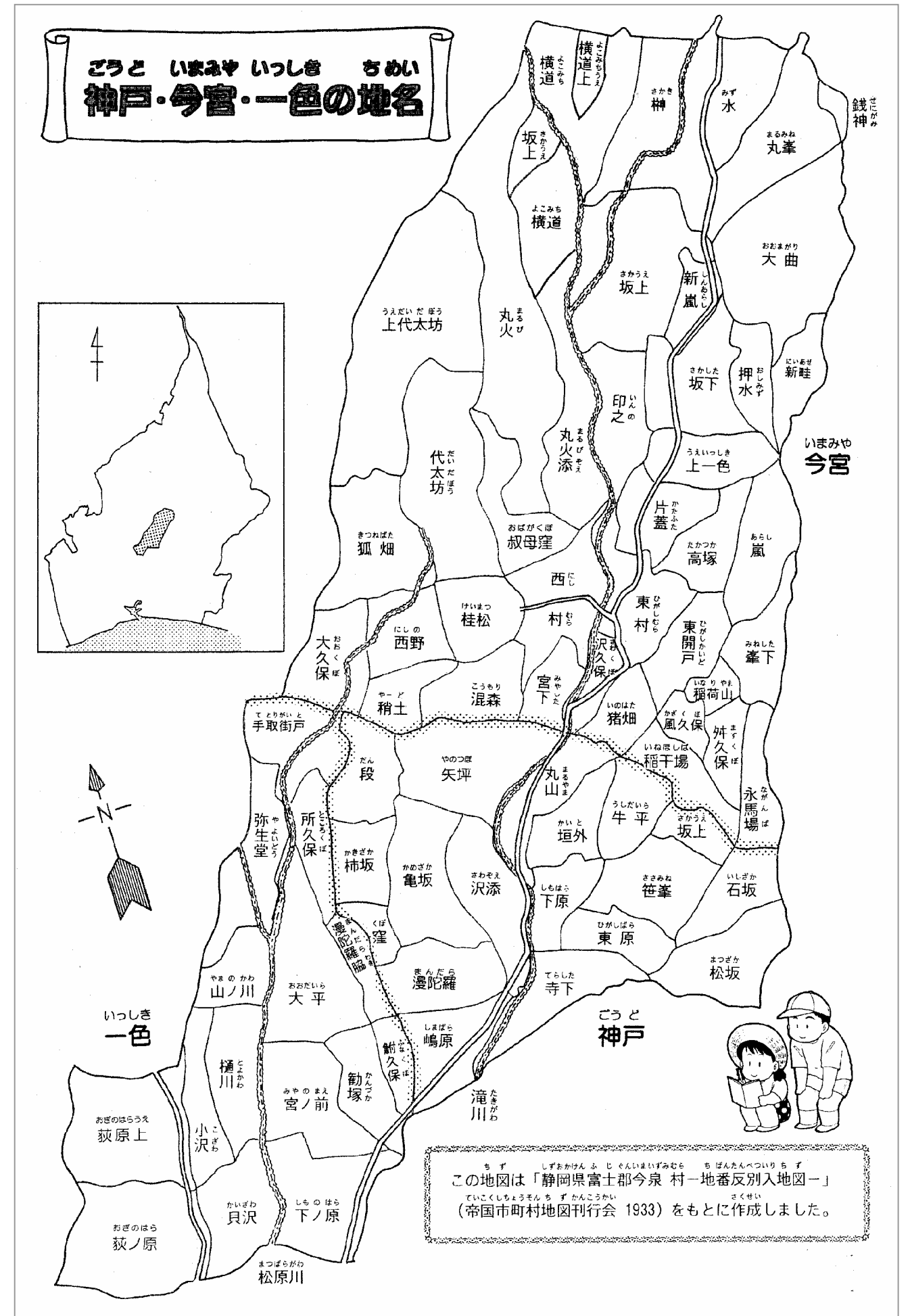
#### この資料は、次の資料をもとに作りました。

- 「吉原市史研究資料 第1集」吉原市教育委員会 1953 C214 p.44-47 『吉原市内の地名について』中野国雄 / 著
- 「地名用語語源辞典」楠原佑介・溝手理太郎 / 編 東京堂出版 1983 R291.033
- 「地名の由来を知る事典」武光誠 / 著 東京堂出版 1997 291.034
- 「日本国語大辞典 第2版 全14巻」小学館 2000-2002 R813.1
- 「吉永地区の地名の由来」吉永郷土研究会 1996 C291.4
- 「郷土今宮 - 郷土史 - 」岡田里美 / 著 岡田里美 1986 C214
- 「いまみや - 村誌 - 」鈴木博 / 著 鈴木博 1984 C214
- 「駿河志料 2」中村高平 / 著 歴史図書社 1969 S220



「資料の名前」 書いた人 発行したところ 発行した年 請求記号 ページ  
 (ラベルの番号)

の順番に並んでいます。



この地図は「静岡県富士郡今泉村一地区反別入地図一」(ていこくしやうふじぐんいまいづみむらちばんたんべつりりちず) (帝國市町村地図刊行会 1933) をもとに作成しました。

## 神戸の地名

**石坂** 石の多い坂を表します。  
**牛平** 由来はわかりません。ウシは、牛を飼っている所、牛に似た地形、北北東の方向などを表します。タイラは、山の中腹の平らな場所を表します。

**垣外** カイトは、限られた一区画の土地を表します。

**柿坂** 柿の木のある坂を表します。

**亀坂** 亀のこうらのような形の坂を表します。

**窪** くぼんだ土地を表します。

**坂上** 坂の上の土地を表します。

**笹峯** 笹が繁った山を表します。

**沢添** 沢（滝川）に沿った土地を表します。

**嶋原** シマバラは、まわりを水に囲まれた原っぱを表します。

**下原** 下（南）の方の原っぱを表します。

**段** 奈良時代、軍団が置かれた場所ではないかといわれています。

**寺下** 常願寺にちなむ地名です。寺の下（南）の土地を意味します。

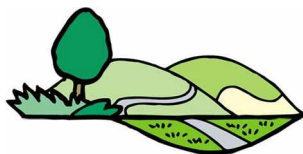
**東原** 東の方の原っぱを表します。

**松坂** 松の木のある坂を表します。

**丸山** 丸い山を表します。

**漫陀羅** 雨ごい曼陀羅の伝説にちなむ地名です。昔、日照りが続いたある日のこと、村を通りかかった日蓮上人が、おまんたらを書いて、これをかけてお祈りする言って立ち去りました。それ以降、このおまんたらをかけて雨ごいをする、必ず雨が降るようになりました。村人は、お堂を建て、これをまつりました。

**矢坪** 「段」と同様、奈良時代、軍団が置かれた場所ではないかといわれています。ヤツボは、矢を射るときに狙いを定めるところで、的や急所のことをいいます。



### 土地の高低

この地域は、土地の高低が多いためか、「ミネ」「ツカ」「サカ」「クボ」「サワ」などがつく地名が多く見られます。「ミネ」「ツカ」は小高くなっている土地、「サカ」はその途中の土地を意味し、「クボ」はへこんだ土地、「サワ」は小高くなっている土地に挟まれた川を意味します。

## 今宮の地名

**嵐** アラシは、強風の吹く所や山の急斜面を表します。

**飯森山** 富士三石の一つである壺石と、武田信玄の腰掛け石があるといわれています。「駿河志料」に見られる地名ですが、実際には、大淵に属する地名のようです。イイモリヤマは、飯を盛ったような形の山を表します。

**稲荷山** イナリは、稲荷信仰（稲や農耕を司るウカノミタマノカミをまつる）による地名です。

**稲干場** イネホシバは、稲の神をまつる場所のことをいいます。鶺鴒ヶ淵にも同じ地名があります。

**猪畑** イノシシがよく出る畑を意味します。

**印之** 由来はわかりません。

**上一色** カミイッシキともいいます。イッシキは、「ひといるの税をとる」という意味で、一種類の税をとる土地を表します。その上（北）の土地を表します。

**上代太坊** ダイダボウは、ダイダボッチ、ダイダラボッチともいわれる伝説上の巨人です。怪力を持ち、榛名山に腰をかけて利根川で足を洗ったとか、足跡が池になったとか、いろいろな伝説があります。富士山を背負おうとしたけれど、手頃な縄がないのでやめてしまったという伝説もありますが、この地ではダイダラボッチの伝説は残っていません。代太坊の上（北）の土地を意味します。

**大久保** 大きなくぼ地を意味します。

**大曲** オオマガリは、川や道や山すそなどが大きく曲がった地形を表します。今泉にも同じ地名があります。

**押水** 由来はわかりません。オシミズは、大水、洪水の押し寄せた水のことをいいます。

**叔母塚** 昔、この辺りに、死んだ馬を埋葬する、くぼ地がありました。ウマ

ガクボが変化したものかもしれません。

**風久保** 風が強く、風の被害が多いくぼ地を表します。

**片蓋** 由来はわかりません。

**狐畑** キツネがよく見られる畑を意味します。

**桂松** 由来はわかりませんが、桂の木と、松の木があったことによると考えられます。

**混森** 由来はわかりません。コウモリは、動物のコウモリの形をしている土地か、コウモリがよく見られる土地を意味します。あるいは、コウモリグサ（この地方の方言でメヒシバのこと。道ばたや畑に生える雑草。）の生えている場所を意味しているのかもしれません。

**坂上** 坂の上の土地を意味します。

**坂下** 坂の下の土地を意味します。

**榊水** 由来はわかりません。

**沢久保** 沢のあるくぼ地を意味します。

**新嵐** アラシは、強風の吹く所や山の急斜面を表します。シンは、後から名づけられた方の土地を表します。

**銭神** 由来はわかりません。ゼニガミは、金銭を敬つていう語、または、蛇のことをいいます。桑崎の銭上という地名は、山間地で平坦地が狭い場所を意味します。今泉の銭神塚は蛇をまつた塚を表します。

**代太坊** ダイダボウは、ダイダボッチ、ダイダラボッチともいわれる伝説上の巨人です。上代太坊の項を参照。

**高塚** 小高い丘を意味します。丘の上に嵐之宮神社のほこらがあります。

**と呂免書** 富士の巻狩りの跡といわれ、今宮浅間神社（西村）の西方にあたります。「駿河志料」に見られる地名ですが、現在は残っていません。ドロメキは、雷や大砲や行き来する車馬の音が鳴り響くことを表します。

**永馬場** 由来はわかりません。ナガババは、広い馬場、または、馬場で長い距離馬を乗りまわすことをいいます。鶺鴒ヶ淵の長場という地名は、南北に長い場所を意味します。

**新畦** アゼは、田畑の間に土を盛り上げてつくった仕切りをいいます。ニイは、新しくできたことを表します。

**西野** 西側の野原を表します。



**西村** 西側の村を表します。

**東開戸** カイトは、限られた一区画の土地を表します。東村から分かれて開

かれた分村を表します。

**東村** 東側の村を表します。

**舂久保** マスは、四角いことを表します。四角くいくぼ地を意味します。

**丸火** マルビは、富士山から流れ出た溶岩流のことをいいます。動詞マル

ブ（転ブ）が変化したものです。

**丸火添** 丸火のとなりの土地を意味します。

**丸峯** 丸い山を表します。

**峯下** 山の下の土地を表します。

**宮下** 神社にちなむ地名で、今宮浅間神社の下（南）の土地を表します。

**稍土** 由来はわかりません。ショウドともいいます。

**横道** ヨコミチは、東西を結ぶ道をいいます。横道のある土地を意味します。

**横道上** 横道のある土地の上（北）の土地を意味します。

## 一色の地名

**大平** 広い平らな土地を意味します。

**荻ノ原** 荻（ススキに似た植物）が生えている場所を意味します。

**荻原上** 荻が生えている場所の上（北）の土地を意味します。

**貝沢** 松原川にちなむ地名ですが、カイの由来はわかりません。

**勤塚** 由来はわかりません。ツカは土が盛り上がり小高くなった場所を表します。

**小沢** 小さな沢を意味します。

**下ノ原** 下（南）の原っぱを表します。

**手取街戸** テトリは、切り取られたような地形を表します。カイトは、限られた一区画の土地を表します。依田橋にも手取海道という地名があります。

**所久保** 由来はわかりません。トコロは小高い場所、または、植物のトコロ（ヤマイモに似た野生植物で、食用になる）が生えている場所を表します。クボはくぼ地を表します。

**樋川** トヨモカワも水路、川を表します。松原川にちなむ地名です。

**鮎久保** フナクボは、舟の形をしたくぼ地を表します。今泉にも舟久保という地名があります。

**漫陀羅** 雨ごい曼陀羅伝説にちなむ地名です。神戸の曼陀羅の項を参照。

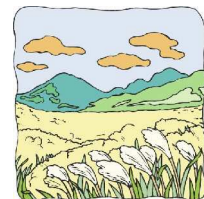
**宮ノ前** 神社にちなむ地名で、愛鷹神社の前の土地を表します。

**山ノ川** 松原川にちなむ地名です。

**弥生堂** 由来はわかりません。

**上と下・縦と横** 富士市は、北に富士山を望み、北に行くにつれ、高度が高くなるため、北の方角を「上（または上）」、南の方角を「下（または下）」と表します。

また、同様に、南北を「縦」、東西を「横」と表します。



### 上と下・縦と横

富士市は、北に富士山を望み、北に行くにつれ、高度が高くなるため、北の方角を「上（または上）」、南の方角を「下（または下）」と表します。

また、同様に、南北を「縦」、東西を「横」と表します。